



車内の金城学院大学

78限目

「英米文化研究」

10/24(土)
オープンキャンパス開催!

「綿花畑から生まれた音楽？」

〔労働歌とアメリカ音楽〕

建国以前から19世紀半ばまで、アメリカには「黒人奴隷制度」が存在し、多くのアフリカ人とその子孫が奴隷として扱われ、アメリカ南部の広大な綿花畑などの労働力となっていました。そこで働かされた人々は、作業中に「労働歌」と呼ばれる歌を歌い、過酷で単調な作業にリズムを持たせ、その辛さを紛らわせていました。やがて彼らは、歌詞の中に密かにメッセージを込めたり、曲調で哀しみを表現するようになり、歌の中に人としての尊厳や感情を織り込むようになったのです。これが後にブルースやゴスペル、ジャズなどの多くの音楽へとつながり、労働歌で用いられた「コール&レスポンス」といった歌唱スタイルも継承されていきました。このように音楽の歴史には、悲運の中にあっても人間としての尊厳を懸命に守ろうとした人々の足跡が残されているのです。

歴史や文化を学ぶことで、世界を知る。それが文学部 英語英米文化学科。

強く、優しく。



金城学院大学